

統一地方選挙のお知らせ

●苦小牧市議会議員選挙
・投票日 4月23日(日)
・期日前投票期間(各会場共通)
4月17日(月)~4月22日(土)
△市役所2階
のぞみコミセン・豊川コミセン
沼ノ端交流センタ・勇払出張所
イオンモール2階

※期日前投票の時間は、
市役所は 8:30~20:00
その他の会場は 9:00~20:00



紙議員 OSAを批判 軍事化の懸念招く

同志國軍支援 平和協力が形骸化

入れられ、改憲は信頼を失う」との言葉を紹介。「国家安全保障戦略ではなくて、日本国憲法に即した大綱にすべきです」と迫りました。

ODAでは対応できない他国軍への支援の枠組みです。途上国の軍に装備品や資機材提供、インフラ整備などを行い、警戒監視、テロ対策などを支援項目にあげています。対象となるのは、民主主義や法の支配、基本的人権などを重視する「同志國」で、

当面フィリピンを皮切りにマレーシア、バングラデシュ、フィジーを想定しています。なつた場合、弾薬などの提供も可能になります。

参議院ODA沖縄・北方問題特別委員会で7日、日本共产党の紙智子議員は、同志國の軍に武器などの装備品提供を可能とするOSAを政府が新たに決めたことについて、日本が軍事化したと思われる懸念があると批判しました。

政府は5日、政府開発援助(ODA)の大綱案と同時に政府安全保障能力強化支援(OSA)を決定しました。OSAは、非軍事分野に限ら

Aは非軍事といいながら、一方のOSAで軍事支援となれば、他国から原則の非軍事支援を形骸化したと思われるのではないか」とただしました。林芳正外相は、「日本が紛争に積極的に介入し、武力行使を後押しするわけではない。防衛装備移転三原則および運用指針の枠内で支援し、国際紛争と関係ない分野に限定している」などと答弁しました。

紙智員は、2019年に亡くなつたペシャワール会の中村哲氏の活動ができるのは、憲法9条をもつていて日本への信頼があるからだ。非軍事の立場を明確にしているから受



インボイス実施中止を日本共産党

生業と暮らし守るために

畜産の灯を消すな

国会かけある記 紙ともこです



紙智子(かみ・ともこ)
日本共産党参議院議員

統一地方選挙の内での実施を強調していますが、自民・公明両党は月末にも他国軍への殺傷兵器の輸出も可能とするよう、三原則見直しの協議に着手。そうなつた場合、弾薬などの提供も可能になります。

北海道で続く酪農危機。国会では「酪農やばいです」という酪農家の声を紹介して質問しました。政府は、酪農家に生産目標をもたせ「もつと増やせ、アクセルを踏め」と求めてきたのに、今度は一転『抑制だ、ブレーキだ』と。「一体どうしたらいいのか」と悲鳴が出るのは当然です。

コロナ感染症の拡大で学校休業など、牛乳の消費が減り、ロシアのウクライナ入している乳製品(カレントアクセス=低関税輸入枠)トアクセス=低関税輸入枠)約14万トンは手つかずです。WTO協定上にカレンントアクセスは全量輸入する義務があるのかと聞いたところ、政府は「そのように規定されていない」と認めました。約14万トンは政府の方針で輸入しているだけです。政治決断でカレンントアクセスを減らすことができます。

実行委員会は、たたかいのなかにも、和やかで創意を發揮した「みんなで創るメーデー」として成功をめざしています。大勢でつどおう。

今年の基本ストーガンは、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義・立中の日本をめざそう」。集会は「わたばうし」の歌声でオ



侵略の影響もありますが、前半戦が終わり、円安誘導政策で飼肥料はじめ輸入資材が高騰したのは、明らかに政治の責任です。

政府の責任を指摘するとともに、高騰した工賃代を直接補てんするよう求めました。生乳が過剰というなら需給調整することも直接補てんするよう求めました。

●中学卒業まで通院に助成を。「乳幼児等医療費助成制度の年齢拡大を求める署名」に「協力をお願いします。

▼会場 若草中央公園
○14時 開会
電話33-3285

▼5月1日(月)
○13時40分 オープニング

☆ ☆